



新型コロナウイルス感染症

感染拡大防止のための活動報告No.25

新型コロナウイルス感染症によって、いろいろな活動が縮小され、思うようにならないもどかしさを感じることも多くあります。婦人会では、それを乗り越えるパワーを持ち合わせているので、マスクをしていても笑顔を忘れず活動しています。そこで、新しい生活様式のために取り組む婦人会活動を紹介いたします。

＜鹿児島県結核成人病予防婦人会（南九州市地域女性団体連絡協議会）＞

南九州市では、高校生クラブと一緒に、高校生へのマスク作り指導および製作とともに、市内児童福祉施設等への寄贈を計画していました。

しかし、作成指導中の3密が避けられないという判断から、共同企画としては中止せざるを得なくなりました。

そこで、南九州市地域女性団体連絡協議会では、会員でマスクを製作し、それを高校生クラブに贈呈することにしました。7月22日（水）に、知覧文化会館会議室において、材料・道具等を持ち寄り、会員のみでマスクを製作しました（写真1）。3密を避けながらの作業は、想定とは違い、息の合った流れ作業だったので、わずか2時間で40枚を完成させることができました（写真2）。



写真1 マスク製作風景



写真2 マスク着用でも、完成後の達成感に満ち溢れる会員の皆さん

また、南九州市高校生クラブ主催の「ふるさと大会」が8月1日に知覧平和公園にて開催されました。今年は規模を縮小し、清掃ボランティアを実施することでしたので、ボランティアに参加した高校生クラブのメンバーへ手作りマスクを贈呈しました（写真3）。また、その内容は、市の広報誌にも掲載されました（資料）。



写真3 参加した高校生は笑顔でマスクを受け取ってくれました！

子 どもたちの笑顔を見たいから
～食を通じてボランティア～

㈱ヒルフィールドカンパニーの代岡野幸二さんは、コロナ禍で子どもたちが少しでも笑顔になってもらい、客足減少による従業員の元気を取り戻そうと、7月19日から3回にわたり、川辺牛100%のハンバーグ弁当100食を子どもたちへプレゼントしました。会場では終始笑顔が溢れ、コロナ禍を忘れるひと時でした。



▲弁当100食を子どもたちへプレゼントしました。

地 域に貢献する高校生
～第39回高校生ふるさと大会～

8月1日、知覧平和公園にて、高校生ふるさと大会が行われました。本大会は、市高校生クラブが中心となり毎年行っているもので、今回は規模を縮小し、清掃ボランティアのみを実施しました。会長の東垂水太陽さんは、「少しでも地域に貢献する活動ができて良かった。」と話しました。



▲市女性連から手作りマスクの寄贈があり、そのマスクを着けて活動を行う高校生クラブ会員

資料 広報南九州 令和2年8月号 5p



新型コロナウイルス感染症

感染拡大防止のための活動報告No.26

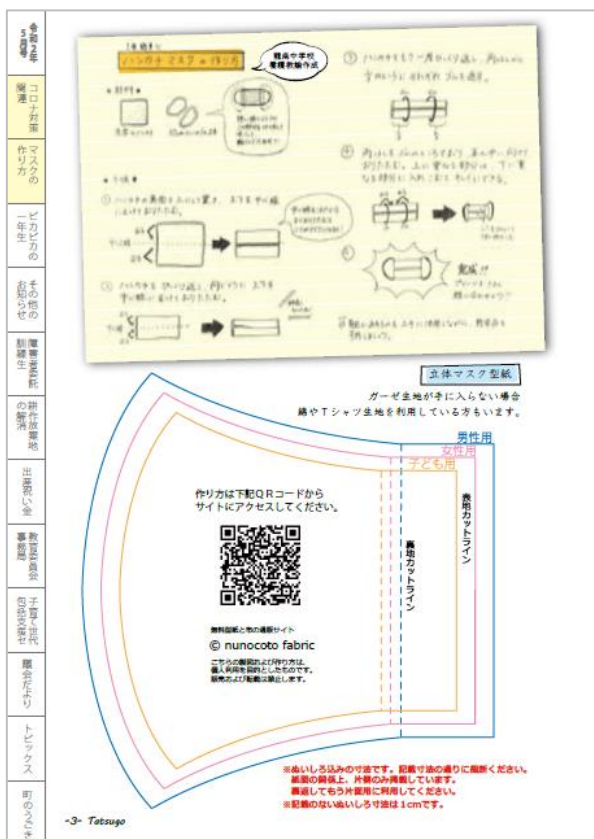
新型コロナウイルス感染症が、地域社会に与える影響は計り知れません。婦人会では、それをバネに活動を継続するように心がけています。そこで、新しい生活様式のために取り組む婦人会活動を紹介いたします。

<鹿児島県結核成人病予防婦人会（龍郷町地域女性団体連絡協議会）>

龍郷町では、町からの呼びかけで、布マスク作りにとりくみました（資料1）。

そこで、3密にならないよう、個人や少人数のグループで会員が手作りマスクを施設に提供しました（資料2）。

また、3密を避けて地域活動を継続したり、手洗いうがいの実施を声掛けしたりするなど、個人個人でできること徹底するような周知活動を現在も続けています。



資料1 広報たつごう 5月号 3p



資料2 広報たつごう 7月号 18p



新型コロナウイルス感染症

感染拡大防止のための活動報告No.27

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、さまざまな方々が、最前線で活動していらっしゃいます。婦人会では、その活動を支援するため、これまでの協力関係機関と連携して活動を継続しています。そこで、新しい生活様式のために取り組む婦人会活動を紹介いたします。

<鹿児島県結核成人病予防婦人会（徳之島町結核成人病予防会）>

徳之島町では、行政からの依頼を受け、執行部役員、地区女性連の協力もいただきながら、それぞれの自宅で布マスクを作りました。出来上がったマスクを集め、配布先・日程を検討し、1,800枚を配布することができました（写真1）。

マスク生地やゴム紐などの材料が不足して大変な時期もありましたが、現在でも役員を中心に自宅でマスク作成を続けています。役員会でグループホームや社会福祉協議会、商店街、大型スーパーなどの配布先を決めて訪問し、贈呈しています（写真2）。

7月には、豪雨災害支援金の募金活動も開始しましたが、集会や訪問ができず、役員で活動しています。9月からの敬老祝賀会をはじめ、すべての行事が中止と決定されていますが、マスク作りを継続するとともに、少人数で、3密を避けながら、個別訪問など今できる活動を予定しています。

事業者支援のための「徳之島町単独給付金」の要望書が徳之島町議会から本町へ提出されました。

県の休業要請を受け、営業自粛や時間短縮などで大きな影響を受けている事業者に対し、事業の継続を支え、また再起の糧となる事業再開に促せる町独自の給付金を支給する「徳之島町単独給付金支給」についての要望書が、令和2年5月8日、町議会から提出されました。本町は給付金を町単独で予算化し、事業者支援の施策を実行していきます。

～本町へたくさんのあたたかいご支援をいただいています～

株式会社サン様（兵庫県尼崎市：池田盛也 代表取締役）よりマスク1万枚と消毒液、太平電機株式会社様（神奈川県横浜府市：樋口公平 代表取締役）よりマスク2,000枚、徳之島町建設業協会様よりマスク2,000枚のほか、徳之島観光大使のオスマン・サンコン様、町内業者の烈士総業様からもマスクをいただき、町内の医療機関や消防署、学校等へお届けしました。

町内各所へお届けしました。

また、徳之島町女性団体連絡協議会へ町から布マスクの製作を依頼。キルトパッチ乃惟様から町女性連へ布の無償提供があり、町女性連会員の皆様ボランティアで製作した、子ども用を含む1,000枚の布マスクを届けいただきました。

皆さまのあたたかいご支援に心から感謝いたします。

3 徳之島 2020年5月号



写真1 広報徳之島 6月号3p

写真2 徳之島町社会福祉協議会へのマスク贈呈